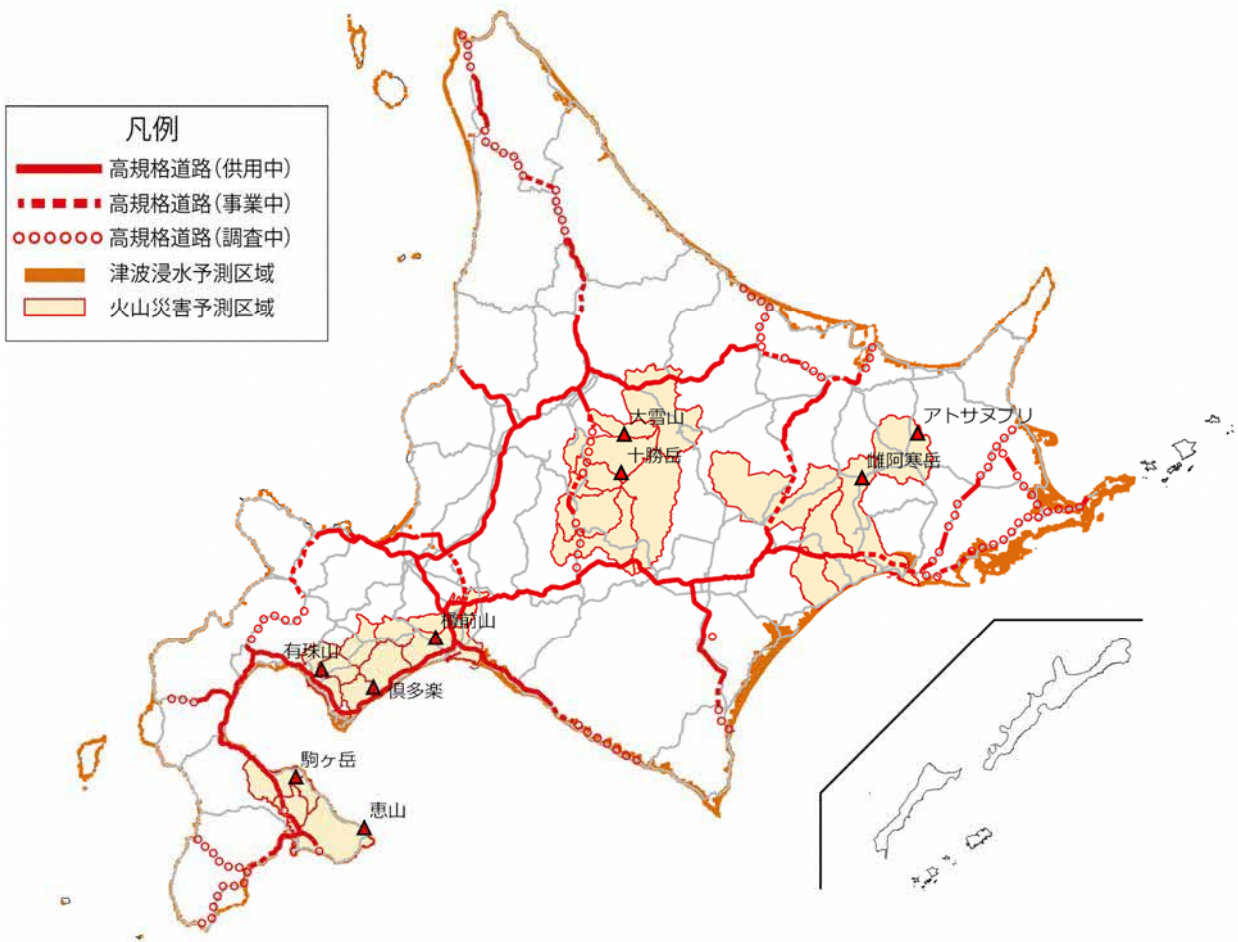


➤ 津波等、大規模災害における道路被災リスク

- 平成23年の東日本大震災の発生を踏まえて見直された道内の津波浸水予測では、太平洋側、日本海側ともに、沿岸部の道路の多くが浸水予測区域内に位置している。
- また、道内には常時観測火山は9つ存在しており、いずれも活火山であることから噴火が発生するリスクが高く、噴火時における周辺道路の被災や長期間の交通障害が懸念される。

■ 北海道の津波浸水予測区域・火山災害警戒地域

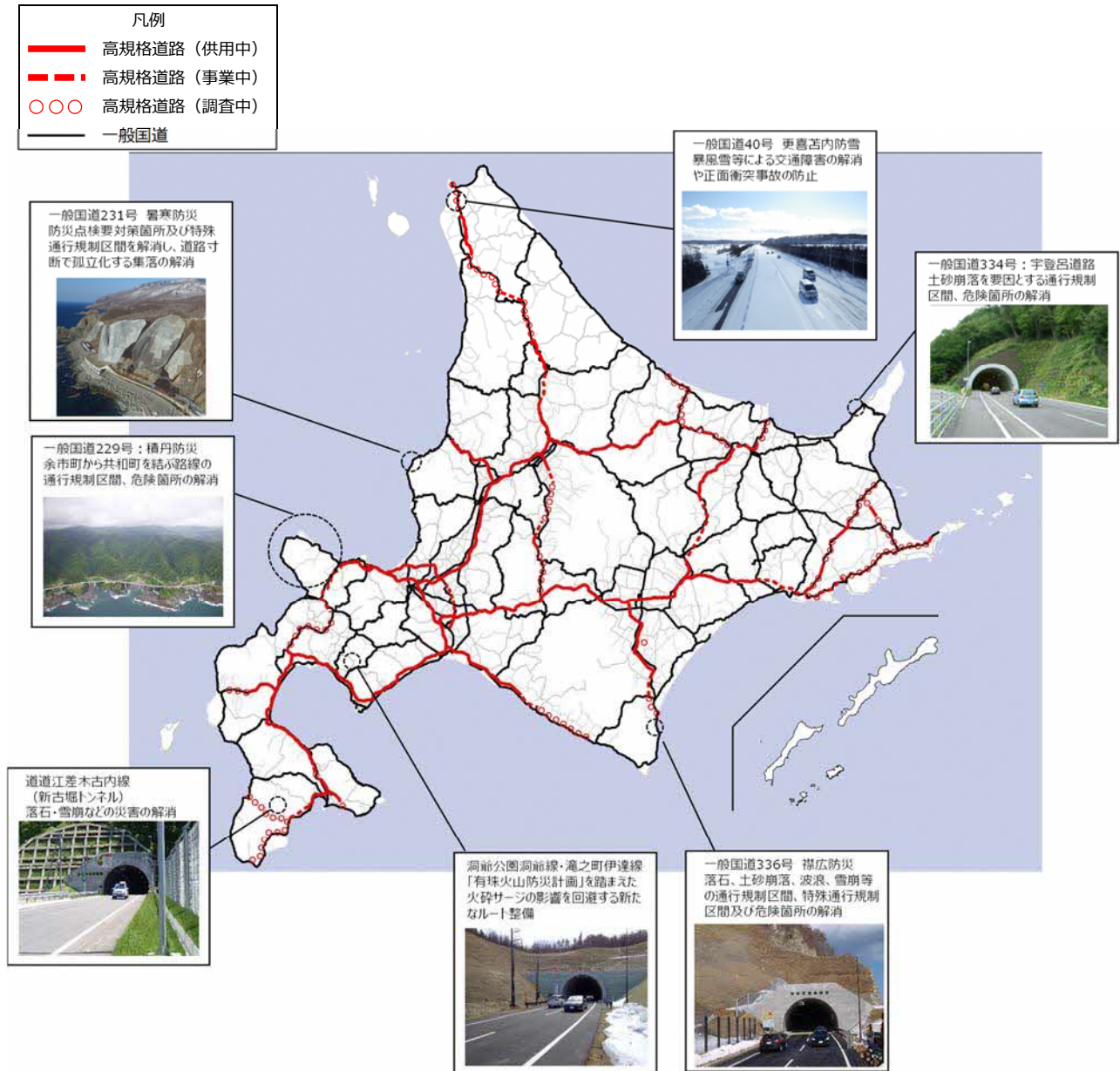


津波浸水予測区域：北海道防災情報 津波浸水結果 GISデータ（北海道総務部）を基に作成

➤ 災害に強い道路整備の事例

- 道内の国道、道道においては、大規模災害の発生に備え、代替性の確保や耐災害性の強化を目的とし、防災上の危険箇所の解消など防災・減災に資する道路整備事業を推進している。

■近年の主な防災関連の道路整備事業



● 災害時における道の駅の活用事例

- 道の駅は、多様な機能を持った地域の拠点として、防災面でも注目されており、防災拠点や地域の避難所として活用された実績がある。
- 北海道胆振東部地震時には、道の駅「むかわ四季の館」が地域の避難拠点として活用された。
- 道の駅「メルヘンの丘めまんべつ」では、地吹雪による通行止め時に防災拠点や避難所として活用された。

■北海道胆振東部地震で地域の避難所として活用された道の駅「むかわ四季の館」の事例



道の駅「むかわ四季の館」における避難状況
(H30年9月)



避難者用毛布の提供
(H30年9月)

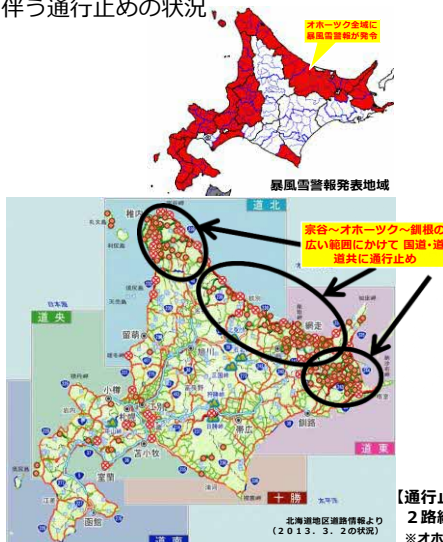
出典：令和2年度北海道開発局関係予算について（令和2年3月31日）（北海道開発局）

■地吹雪による通行止め時に防災拠点や避難所として活用された道の駅「メルヘンの丘めまんべつ」の事例

- オホーツク地域における吹雪災害により、広範囲にわたって道路の通行止めが発生した際、一時避難場所として施設を開放。食料の配布を実施。
- 駐車場は、除雪車等の拠点基地や道路上の立ち往生車両の待避所として活用。

【道路区域外】

H25年3月の吹雪災害及びそれに伴う通行止めの状況



道の駅「メルヘンの丘めまんべつ」の災害対応状況



【通行止め区間】国道7路線、道道52路線が通行止め
※オホーツク管内の幹線道路の約5割が通行止め

出典：第4回「道の駅」第3ステージ推進委員会配布資料（R2.11.20）